



内閣府 令和5年度沖縄型産業中核人材育成事業
顧客体験価値の創出により新たなビジネスモデルと地域DXをリードする人材の育成プログラム

研修カリキュラムについて

2023年8月1日

一般社団法人 UX設計技術推進協会

Confidential 2023 / 一般社団法人 UX設計技術推進協会 / All rights reserved

令和5年度「沖縄型産業中核人材育成事業」に係る委託先の公募について

令和5年4月7日
政策統括官（沖縄政策担当）付
産業振興担当参事官室

内閣府では、令和5年度「沖縄型産業中核人材育成事業」を実施する委託先事業者を、以下の要領で広く募集して、結果として採択をされました。（株式会社ブルー・オーシャン沖縄が受託会社である）

1. 事業内容・目的

本事業では、沖縄県経済の発展に向けて、観光業等のリーディング産業の高度化・多様化を促進するとともに、ものづくり産業等の経済の基盤となる産業の底上げを図るなど、沖縄の産業全体の生産性を向上させる観点から、業界団体等が主体となって人材育成カリキュラムを開発し、県内企業の人材を対象に研修を実施します。本事業を通じて、県内企業の人材の抜本的な能力向上及び継続的な人材育成を目指します。

2. 採択されたテーマ

顧客体験価値の創出により新たなビジネスモデルと
地域DXをリードする人材の育成プログラム



Confidential 2023 / 一般社団法人 UX設計技術推進協会 / All rights reserved

2

本事業の目的

顧客体験価値を起点とした地域発信型ビジネスモデルをリードするDX人材を育成し、地元立脚の新しい価値創出を地域で担い、その地元主導でDX実践を推進する人材を育成することである。

- ① 顧客体験価値を抽出して価値を実現できる要求を定義する手法を習得する
自身の業務での価値改善の提案から始めて、顧客の期待を満たす価値を抽出できるようになる。さらには価値を実現できるシステムやサービスを提案できるようになる素地を獲得できる。
- ② 提示される課題を認識して、より効果的に解決方法を考え提案する体験を得る
県外企業アドバイザーとの交流でより実践的な提案造りの疑似体験をする。この中で、①で習得した手法の実用性を実感し、自身の業務に適用する動機づけを獲得できる。

の経験を研修という形で得て、チームの中で色々な意見をまとめて、顧客価値向上の推進をリードするDX人材を育成する。



本事業の目指す人材像

DX実現の1つの重要な要素となる**体験価値を向上させる技術を習得**して、具体的な**ソリューションを提案する活動を推進するリーダーシップを発揮**する中核人材を育成する

- ① 現状業務の中でより顧客観点で**現状業務の価値改善を提案**する
- ② 現状業務の価値改善成果を活用して、**事業強化及び発展・進化を提案**する
- ③ 顧客体験価値を起点とした**地域発信型ビジネスモデルを創出**する
- ④ 地元立脚の新たな価値の創出を地域で担い、**地元主導でDXを実践**する

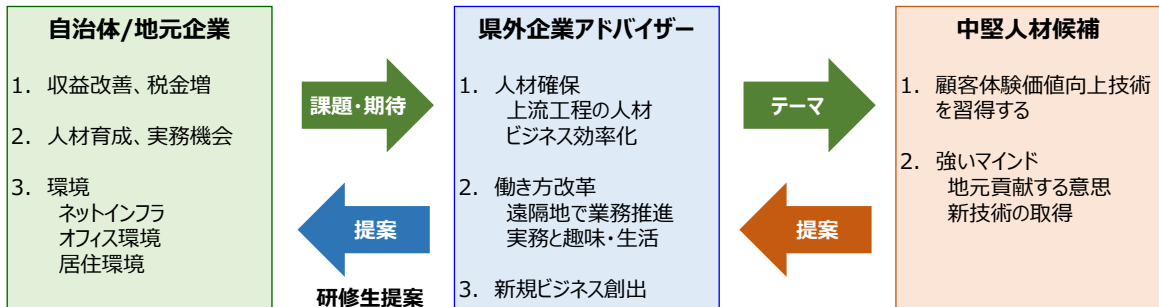
など、**チームの中で色々な意見をまとめて、顧客価値向上の推進をリードする人材を育成**する



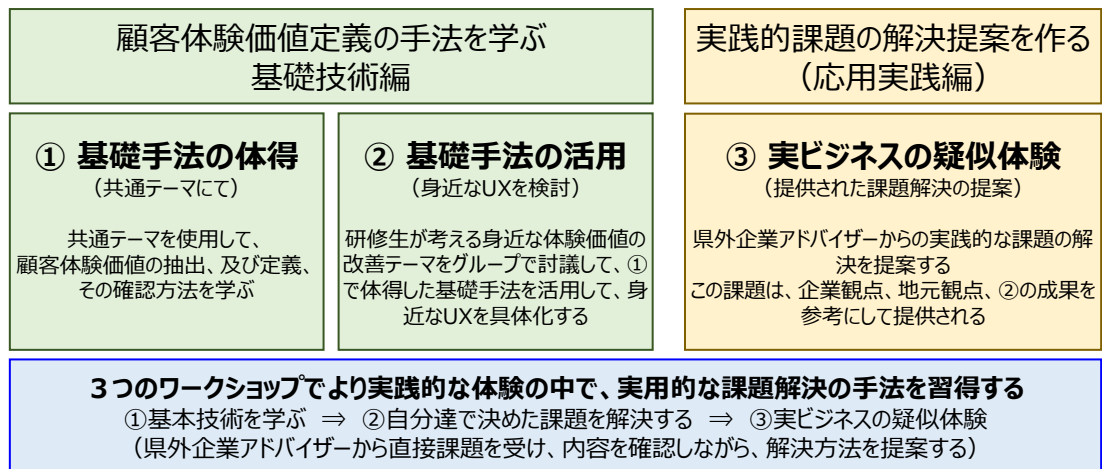
カリキュラムの特徴 1/2

- ◆ 県外企業のマネージャー/リーダー社員をアドバイザーとして参画して貰い、より実践的な実ビジネスの疑似体験を研修の中で提供する（課題テーマを受けて、ソリューションを提案する）

1. 体験価値の抽出と定義の基本を習得する（共通テーマと研修生による身近なUX改善造り）
2. 顧客立場の企業社員を直接会話して、地域活性化の提案造りを体験する
企業社員から自治体/地元企業の課題・期待をテーマとして提示され、そのソリューションを提案する

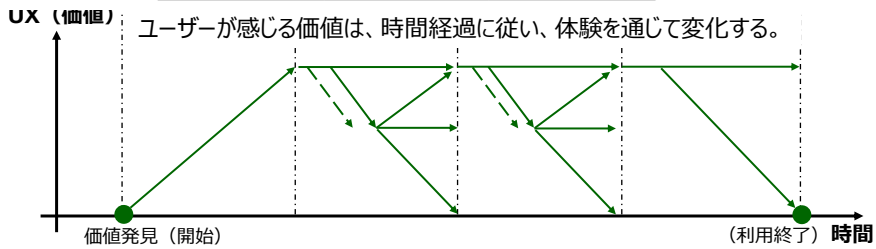
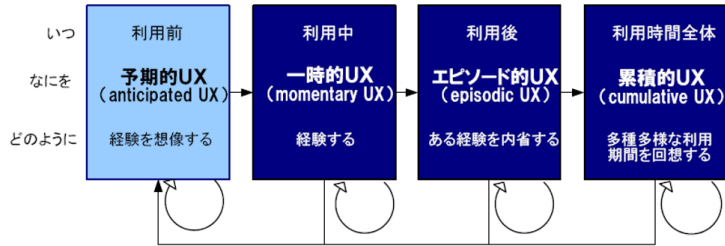


カリキュラムの特徴 2/2



ユーザー体験価値を向上させるには、(顧客体験 / UX (User Experience) とは、)

UXは、ユーザーが製品/システム/サービスを利用し体験する時間の流れの中で、**感じる様々な反応や認識する価値**である。(ISO9241-210)



価値定義に活用するテンプレート

1 お困りごとテンプレート

タイトル	内容
When Where	いつ、どこで困りごとが発生しているのかを記載する
Who	誰が困っているか、そのユーザーの特徴を記載する
What 困りごと	どんなことで困っているのかを記載する
Why 理由	困っていることが発生する理由を記載する
How 解決方法 期待と願望	その困りごとが解決するにはどうなると良いかを記載する

日常で困っていることありたい姿を、5W1Hで記述してみる。

- ・ 困ったことを解決することが価値になる
- ・ 目先の問題解決だけでなく願望や理想的な体験も記述する

2 価値テンプレート

対象ユーザーの特徴
利用状況
うれしさを創る作用
かなしさを取り除く作用
使うことでどう生活が変わる

うれしさを創る作用
利用者が実感できる恩恵
かなしさを取り除く作用
現状持っている悩みや障害、困りごと

本当に期待していた価値を体験できるようにする
・ でも諦めていた、気づいてなかった...

3 UX自己分析テンプレート

自分が感じているUXを言葉にしてみる
・ 言葉にすることで感じている価値が明確になる

感じているUX (困りごと)	期待するUX (価値)	期待するUX (価値)
「予期的UX」	「予期的UX」	「予期的UX」
「瞬間的UX」	「瞬間的UX」	「瞬間的UX」
「エピソード的UX Good」	「エピソード的UX Good」	「エピソード的UX Good」
「エピソード的UX Bad」	「エピソード的UX Bad」	「エピソード的UX Bad」
「累積的UX」	「累積的UX」	「累積的UX」



本講座の構成案

作成日：2023年7月10日

■ 3部構成：①必要な手法習得 ②身近なUX課題の解決に適用 ③実務課題の解決で実践（実務疑似体験）

■ 基本知識を学ぶ			■ ①課題解決できるUX仕様の決め方を学ぶ 個人ワーク				■ 実践の動機づけ		
第1回 対面①-2 UX概要 UX設計手法の全体概要	第2回 対面①-3 ゼミハイ入思考 必須視点解説や地域DXとの関連	第3回 WS1 対面①-4 価値定義 UXや価値の記述手法	第4回 WS2 リモート① 困りごと 身近なUX	第5回 WS3 リモート② タスク分析・価値 課題把握・解決指針・価値定義	第7回 WS5 対面②-2 1-サー-要求 達成目標	第8回 WS6 対面②-3 品質要求 達成確認 利用シナリオ	第25回 リモート⑫ 発表準備 資料作成	第28回 対面⑦-3 個人宣言 (上司/アドバイザーなど)	
■ ②課題解決できるUX仕様を定義する Gpワーク									
第6回 WS4 対面②-1① 困りごと 身近なUX	第9回 WS7 リモート③ タスク分析・価値 課題把握と解決指針	第10回 WS8 リモート④ 1-サー-要求 達成目標	第11回 WS9 リモート⑤ 品質要求 達成確認	第12回 WS10 対面③-1 まとめ 利用シナリオ	第13回 WS11 対面③-2 レビュー 第三者評価	第14回 WS12 対面③-3 改善 成果見直し	第15回 リモート⑥ 発表準備	第16回 リモート⑦ 発表 県外アドバイザー	第17回 対面⑤-2 振り返り 疑問・質問
■ ③地域課題を解決できるUX仕様の定義を実践 Gpワーク									
第18回 WS14 対面⑤-3 課題提示 地域課題	第19回 WS15 リモート⑧ タスク分析 解決指針	第20回 WS16 リモート⑨ 価値・1-サー-要求 達成目標	第21回 WS17 リモート⑩ 品質要求 達成確認	第22回 WS18 リモート⑪ 利用シナリオ 価値共有	第23回 WS19 対面⑥-1 まとめ 中間発表準備	第24回 WS20 対面⑥-2 レビュー アドバイザー評価	第26回 対面⑦-1 発表準備	第27回 対面⑦-2 発表	



Confidential 2023 / 一般社団法人 U X 設計技術推進協会 / All rights reserved

9

本件の問い合わせ・お申し込みについて

本件に関するお問い合わせ・お申し込みは、

株式会社ブルー・オーシャン沖縄

info@boo-oki.com

までお気軽にご連絡ください。



Confidential 2023 / 一般社団法人 U X 設計技術推進協会 / All rights reserved

10